



2020年10月16日

日本初。第一回国立大学法人東京大学が発行するソーシャルボンド 「東京大学FSI債」への投資について

山口重工業株式会社(代表者名:山口豊和、以下「当社」という)は、このたび、国立大学法人東京大学が発行するソーシャルボンド(第1回国立大学法人東京大学債券、以下「本債券」という)への投資を決定しましたので、お知らせします。「ソーシャルボンド」とは、「社会貢献債」とも呼ばれ、社会的課題の解決に資するプロジェクト(ソーシャルプロジェクト)の資金調達のために発行される債券です。

東京大学は、国の高等教育政策を直接担う国立大学であり、世界最高水準の研究を追求・発信しています。本債券への投資資金はFSI^{注1)}事業に充当され、「ポストコロナ時代の新しいグローバル戦略を踏まえた研究」、「安全、スマート、インクルーシブなキャンパスの実現」を通じて、より良い未来の創造のために活用されます。

本債券への投資は、「すべての人々へ質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」という観点から、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標(SDGs)^{注2)}の達成に貢献します。とりわけ、東京大学はFSI事業として、SDGsの達成に資する様々な研究教育プロジェクトを推進しており、複雑化する社会課題の解決を目指しています。

2020年9月、本債券発行のための枠組みであるソーシャルボンド・フレームワークについて、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義するソーシャルボンド原則2020に適合する旨、日本格付研究所(JCR)からSocial 1(F)を取得しています。当社は、本債券をはじめとしたSDGs債への投資を継続的に実施することによって、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取組みを推進して参ります。

当社社長山口豊和が「社是の一つ『一番にこだわり、何事においても世界トップを目指すこと』にも合致しているものと考え投資の意思決定をした。本債券を通じ東京大学様とは未来社会の協創を共にしていきたい。」と述べました。

東京大学 FSI 債概要

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/public-info/for_investors.html

東京大学 FSI 債投資表明者一覧

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/public-info/investorslist.html>

志ある卓越。

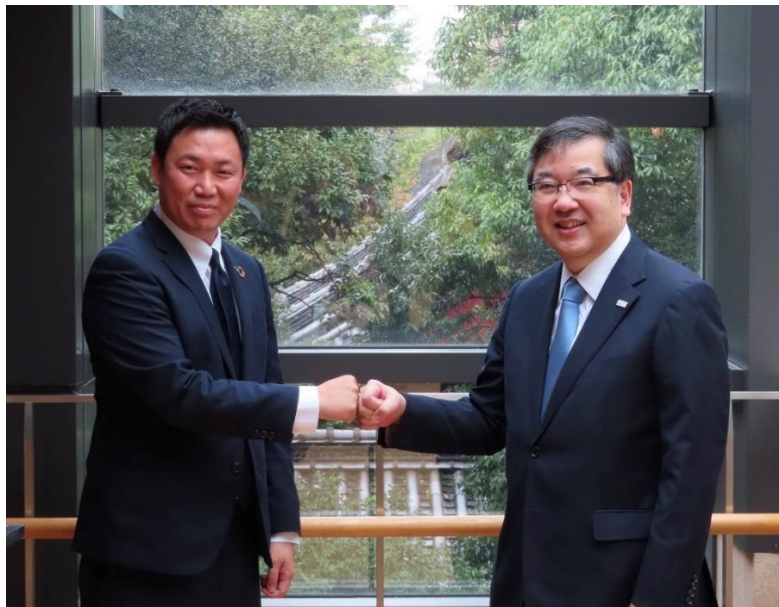


東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

UTokyo
FSI
The University of Tokyo
Future Society Initiative



東京大学「未来社会協創」のロゴマーク



当社社長 山口豊和と東京大学 五神真総長、東京大学 伊藤国際学術研究センターにて記念撮影。背景に国指定重要文化財の東京大学赤門(旧加賀屋敷御守殿門)屋根が見える。